

## 自警団・はのうら（徳島県）

### 活動地域

徳島から参りました自警団・はのうらです。よろしくお願いいたします。

最初に徳島と私たちが活動している阿南市を少し紹介したいと思います。徳島と聞いて、皆さん最初に思い浮かべるのは、阿波踊りでないかと思いますが、これからの季節はまさに徳島が一番暑くなる季節です。私たちが活動しておりますのは、この徳島県の南東部に位置する阿南市です。

阿南市は裁判所、警察署、保健所などの行政機関が集中し、高速バスの発着地となっています。阿南市は四国最東端に位置する自治体で、四国で最初に太陽が昇るまちでもあります。

さらに世界で最初に青色発光ダイオードを発明した会社があることから光のまち、阿南として県内外にアピールしております。



### 団体の概要

次に私たち自警団・はのうらを紹介いたします。自警団・はのうらは、阿南市の北部に位置する羽ノ浦町を中心にして活動しております。平成16年9月26日、自分たちの街は自分たちで守ろうを合言葉に、街頭での犯罪や子供を狙った犯罪の予防を目的として羽ノ浦町地域住民有志で結成されました。また、徳島県で最初に青色防犯パトロール団体として認定を受け、自主防犯パトロールを実施しております。写真は私たち自警団・はのうらのシンボルマークです。羽ノ浦町の羽という漢字を図形化し、その中央に「J」というアルファベットを挿入しております。この「J」は自警団の「J」であり、羽ノ浦町で自警団として躍動する人々を表しております。

私たちは「自分たちでできることは自分た



「自分たちの街は自分たちで守ろう！」

- ・活動開始 平成16年9月26日
- ・会員 阿南市羽ノ浦町住民有志 73名

自分たちでできることは  
自分たちで!!



事務所をつくりました。





ちで」を信念に、自分たちの発想に合わせて羽ノ浦町交番の隣の土地を所有者から無償でお借りし、草抜き、整地等を行い、最終的には事務所も建てました。この事務所が私たちの活動の拠点となっております。事務所の横には青パトの車庫を作り、常時パトロールできるようにしております。その他にも会員の自家用車14台を青パト登録し、町内のパトロールをしております。写真の石碑は自警団・はのうらの心として、協力者の皆さんの名前を刻みこんだものです。現在の会員、後の世代の会員が自警団・はのうらの活動の志を忘れることのないように建立いたしました。

### 自警団・はのうら 5原則

1. 安全・安心への使命感を持続しよう
2. 警察等の関係団体との連携を保持しよう
3. 気楽に気長に、危険なく、パトロールしよう
4. 会員として尊敬される人間を目指そう
5. 真に街の安全・安心を願う 仲間の輪を広げよう

私たち自警団・はのうらはこのような5原則を定めています。これは地域住民の一人として地域の安全と安心を守るために気楽に気長に持続した活動を続けて安全の輪を広げていこうという志で、この5つを活動指針としております。

### 会員の種類

- パトロール会員  
パトロールを実践する会員(年3,000円)
- 運営会員  
運営のために時間・労力・知恵を提供する会員(年3,000円)
- 賛助会員  
趣旨に賛同し、資金を提供する個人及び企業団体(年個人5,000円、団体10,000円)

活動資金について説明します。どのボランティア団体も活動資金の捻出に苦勞されていると思いますが、自警団・はのうらは3種類の会員を作り、幅広い会員から会費を集めることで工夫しております。会員の種類はパトロール会員、運営会員、賛助会員の3種類です。パトロール会員は実際にパトロールをする実践会員で、運営会員は運営の度に時間や労力、知恵を提供

していただく会員です。この両会員については年3,000円をお願いしております。賛助会員は、活動趣旨に賛同し、資金を提供する個人及び団体の会員で、団体では1万円をお願いしております。このような年会費によりまして、決して多くはありませんが、年間どうにか運営できております。

## 活動の概要

私たちの活動内容を紹介します。自警団・はのうらは、子供を狙った犯罪被害や街頭の犯罪被害の防止を主な活動目的としております。特に私たちボランティア団体が結集したのは、町内で子供が被害者となる事件や、子供に対する声掛け事案が増加したことがきっかけでしたので、結成当初から防犯パトロールと子供を見守る活動に力を入れております。

### 活動内容

- 自主防犯パトロール活動  
や子ども見守り活動




### 子どもたちの安全のために…





学校や保育園等を訪問し、安全点検や情報交換をしています。

### 夜のパトロール





交代で町内をパトロール

### 犯罪被害防止のために




金融機関の警戒活動

地域住民へ振り込め詐欺被害防止の啓発活動

毎週月曜日と火曜日をパトロール日に指定し、青パト1台につき会員3人から4人が乗り、登下校時を中心に、町内のパトロールを実施しております。また、事件や事故が多発する年末年始には特別パトロールを実施したり、子供が学校に登校する日は毎日立哨しております。

羽ノ浦町内の学校通学路は狭く、通行量が多いため、登下校時が非常に危険です。また、通学路におきましては不審者による声掛け事案に目を光らせて、発見した場合は直ちに警察に通報するようにしております。子供の安全を守る、見守るためには、学校等との連携が大変重要です。そこで定期的に保育園、学校、交番を訪問し、先生方、警察官と子供の近況や犯罪状況について情報交換をするとともに、学校敷地内の通学路を巡回し、危険箇所の点検や水難危険箇所の見回りを実施しております。

さらに、夜間も交替で徒歩又は青パトによるパトロールを実施しております。これは市内のコンビニなどで、若者が深夜にたむろしたり、バイクで暴走したりするなかで、強盗事件が発生したことがきっかけです。夜間パトロールによって、少しでも犯罪を防止しようと考えております。

事務所の横にある交番の警察官とは常に連携を取りながら、無理のない活動を続けています。

昼夜問わずパトロールを実施した時には、日誌を作成し、気付いたことを記入して、その後のパトロールの参考にしております。

この他にも、警察官が実施する振り込め詐欺被害防止等に協力し、年金支給日には金融機関、ATMの防犯活動にも参加しております。また、幼稚園や保育園で行われる不審者対応訓練や、誘拐訓練にも積極的に参加しております。

また、会員の得意とする技術を生かして、交通安全や防犯教室等を開催しているほか、保育園で餅つき大会等を行い、子供と身近に交流することで、私たちの顔を覚えていただき、子供たちから声を掛けてもらえる関係を作っております。

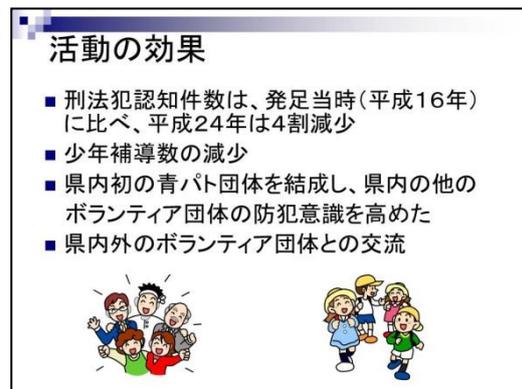


## 活動の効果と今後の課題

私たちが活動を始めた後、羽ノ浦町の犯罪の発生件数は年々減少しており、平成24年中の羽ノ浦町の刑法犯認知件数は、発足当時の平成16年に比べて約4割減少し、子供の犯罪件数も減少しております。私たちの活動の効果かどうかははっきりしませんが、実際に犯罪が少なくなっていることは私たちの活動の励みになっています。また、県内で最初の青パト団体として自主防犯パトロールを実施し、マスコミ等に取り上げられたことは他のボランティア団体の防犯意識を高め、県内の他の青パト団体が結成されるきっかけにもなりました。このような私たちの活動は、県内のボランティア団体も評価してくださり、意見交換等をしてもらえるようになりました。

また、県外からも静岡県や三重県のボランティア団体が視察に来てくれました。このような交流による情報交換は、大変貴重な経験になっております。こうしたことで、昨年10月11日には安全・安心まちづくりの内閣総理大臣賞を受賞することができました。しかし、これに満足することなく、賞に恥じない活動をするよう、今後も5原則をモットーに粘り強く頑張ろうと会員一同気持ちを新たにしております。

最後に今後の活動の課題ですが、地域住民の防犯意識を高め、安全で安心なまちづくりの推進に、若い世代からの一層の参加促進を図りたいと思います。これで自警団・はのうらの発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。



## 質疑応答

---

●司会 青色回転灯装備車を県内で初めて導入したというお話でした。いま多くの団体の方が、専用車両を導入してみたいが資金の問題等々で導入には至っていないと思います。そういった中、公益財団法人日本財団が、自主防犯活動に対して青パトの導入に関する助成をしておられます。本日は日本財団さんもお見えになっておりますので、その助成の要領につきまして、少しお時間を頂戴しましてご案内をしていただきたいと思います。

○日本財団 皆さんこんにちは。東京にあります日本財団からやってまいりました。日本財団では2007年より、自主防犯活動の推進を目的に、青パトの導入に対する助成事業を行っています。これまでに約130台の導入のお手伝いをさせていただきました。今年度も同様に助成の申請を受け付けております。財団のホームページで年間を通して青パトの助成を受け付けておりますので、導入を考えていらっしゃる団体さまがありましたら、日本財団のホームページ、あるいはインターネットの検索画面から「チーム青パト」と入力して検索かけていただきますと、専用のページが開くようになっておりますので、申請をしていただければと思います。

また、去年、一昨年と「青パトフォーラム」というイベントを開催いたしました。こちらは、青色防犯パトロールを実施しておられる団体に集まっていただいて、課題を共有し合ったり、これからの解決策を検討したりという場です。今年度も同様に、福岡で開催を予定しておりますので、ご案内を差し上げました。是非そちらへも、お顔を見せていただくと大変ありがたいと思います。以上です。

●司会 金額につきましては上限が130万円ということであります。ただ、その金額につきましては購入金額の8割だそうです。また、日本財団の助成車につきましては軽四で、あとは白と黒のツートンに塗装し、日本財団のシンボルマークを入れることが要件になっているということでありました。折角の機会ですので、ご案内を差し上げました。